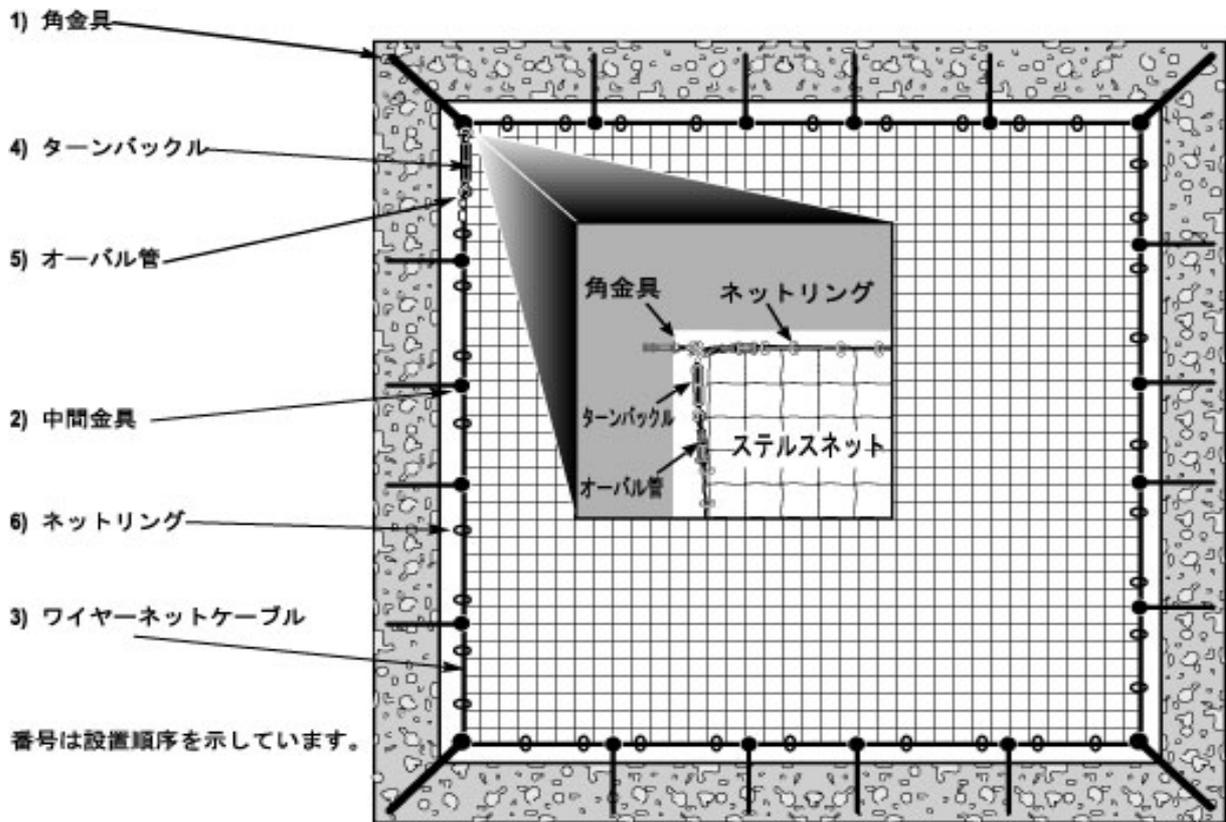


ステルスネット® 設置要領

防除対象鳥	すべての害鳥
バードプレッシャー	すべてに好適 特に高プレッシャー
材質	難燃性耐紫外線ポリエチレン 2.8cm目、5cm目=6本燃 2cm目=4本燃
軟化開始温度	121℃(250F)
耐炎加工製品	耐炎加工ステルスネット (NFPA701 準拠) 2cm目、5cm目 黒色



ステルスネットの設置は一見複雑に見えますが、要素ごとに考えるとごく簡単なことです。ステルスネットの設置には常に7種の要素があります。この7種の要素を適切に選択さえすれば、プロフェッショナルな、効果的で長持ちするネットが出来上がります。ステルスネットの設置の基本はネットを張るケーブルの設置です。ネットケーブルは数種類の金具で建物に固定され、ネットはケーブルにネットリングによって取り付けられます。7種の基本要素の流れは次の通りです。

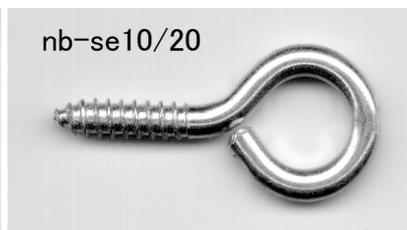
1) 角金具

角金具はステルスネットの設置で最も重要なパーツのひとつです。この金具はケーブルが角の部分を通るときとケーブルの先端で使用します。強い張力に耐えなければなりません。角金具については2つの重要な考察があります。どういう場所かという事とどの金具を選ぶかという事です。角金具を打つ場所は簡単に決まります。角の部分やケーブルの端になる箇所です。ネットが長方形の空間の口を塞ぐような場合、角金具は4箇所必要です。またネットを3次元に張り巡らせる場合は角を多くとるようになり、それだけ角金具が必要になります。

角金具のタイプは設置場所の材質によって選びます。コンクリートの場合はコンクリートアンカーです。木の場合はヒートンを選びます。全体にかかる多大な力の大部分を角金具が支えることとなりますので、これらのコンクリートアンカーやヒートンは頑丈でなければなりません。



nb-mbg/s10



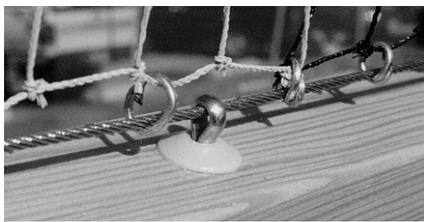
nb-se10/20



Ni-h200

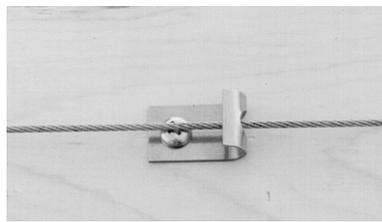
2) 中間金具

中間金具も角金具と同様にケーブルを構造物に固定しますがこの場合はケーブルが弛んで隙間から鳥が中へ入らないようにする役割が重要です。もしケーブルを角金具だけで張ると強い張力でケーブルが離れてしまう場合がありますが、中間金具を適宜使用することによって防ぐことが出来ます。鳩やそれ以上大型の鳥だけを入れないようにするためには、1mから1m20cmぐらいの間隔で中間金具を使用すれば充分ですが、すずめやツバメなど小型の鳥がケーブルの隙間から入ってこないようにするには50cmごとに使用するようになります。コンクリート、金属、木、板金や漆喰など設置場所の材質によって、各種の中間金具があります。ステンレスと亜鉛メッキ品が用意されています。カタログをご参照下さい。

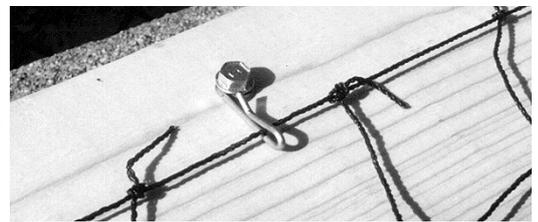


アンカーリベット

割りピン



マルチパーパスブラケット



ネットクリップ

3) ネットケーブル

ネットケーブルはステルスネット全体を囲いまた3次元の場所に張る場合」はより複雑な形状になります。ネットケーブルはステンレスと亜鉛メッキがあり、非常に丈夫です。ケーブルは屋外の巨大な屋根の下や、水平な状態で、中庭全体を覆うように張られたりします。ケーブルは角金具から繋がられ、各箇所の間金具を通してターンバックルにつながれます。(下図参照下)



4) ターンバックル

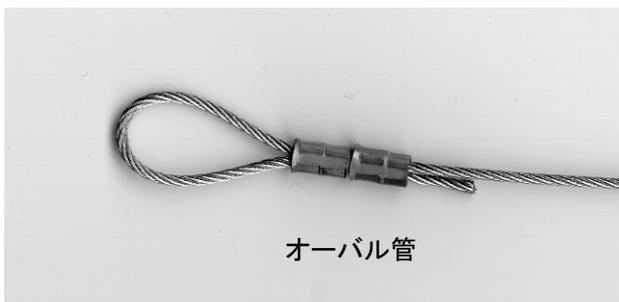
ケーブルは中間金具を通して角金具間で、ターンバックルにより張力を与えられます。ターンバックルは小さいものですが、ネジの働きで強い張力をケーブルにもたらしめますので、ケーブルは丈夫でなければなりませんし、コーナーはアンカーなどで固く付けられている必要があります。ターンバックルには3種類のサイズがあり、それぞれステンレスと亜鉛メッキがあります。

サイズ S はおよそ 8m 以下のケーブルの場合、サイズ M は 8m から 25m まで、サイズ L は 25m 以上ケーブルを張る場合に使用します。重要なことはターンバックルを最後まで緩めておき、出来るだけ強くケーブルを張ってから最後にターンバックルでさらに締めることです。

ケーブルの長さが 3m 以下の設置の場合、ターンバックルは 1 つで充分です。3m 以上の設置の場合、ターンバックルはコーナーごとに使ったほうが良いでしょう。

5) オーバル管とクリッピングツール

オーバル管はケーブルの輪を角金具に止める際に締める為にあります。一方の輪は角金具にもう一方の輪は緩められているターンバックルに付けられます。輪が作られる時オーバル管は円筒形ですが、クリッピングツールでケーブルとともに圧着されます。クリッピングツールで圧着する時は金具を大小いずれかのくぼみに入れ、両端を1回ずつ締め、完全に閉めてください。要は固く締めるためには1つの金具を2回ずつ締めるという事です。輪を締める際はオーバル管を2個ずつ使用する事が望ましいでしょう。



6) ネットリング

ネットはネットリングツールでケーブルに固定します。この道具はネットとケーブルを小さな金属の輪で止めます。簡単に使用でき、1度に50個の輪のカートリッジが入り、ネットをケーブルに止める最も速くかつ強力な方法です。メッシュ1つにつき1個(または1マスおき)のネットリングを使います。ネットの仕事に当たり必要なネットリングの数の算出式は次の通りです。



ネットリングツール



ネットリング

メッシュ 5cmのネット: 30cmあたり 6 個

メッシュ 2cmのネット: 30cmあたり 15 個、または 7 個(1マスおきの場合)

ネットリングは 1 箱 2,500 個入りです。(50 個 × 50 発)

7) ネットの選択と取り付け

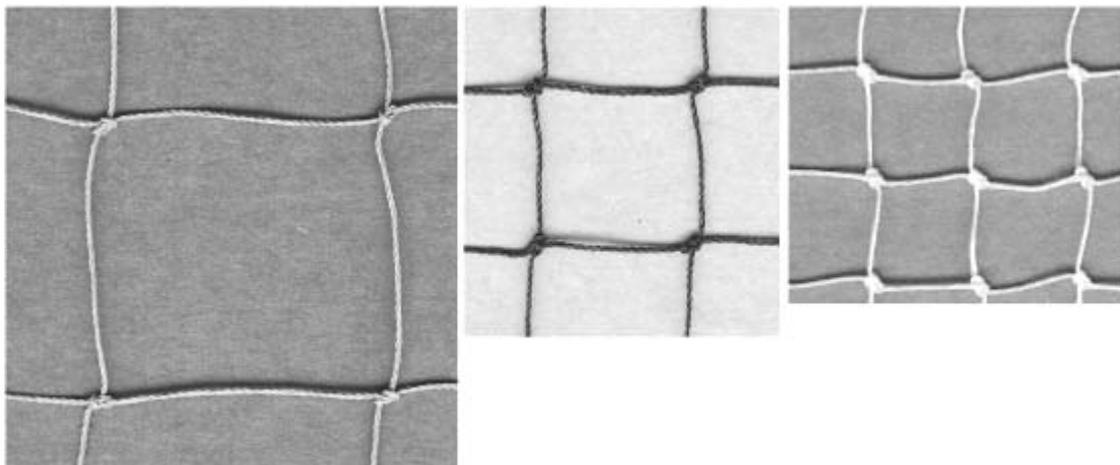
棒状のケーブルの取り付けが完了したら建物の色や、対象害鳥を考慮してネットを取り付けます。ネットの色は建物の主要な色を考慮して決めます。ステルスネットには黒とベージュがあります。ベージュ色のネットはベージュ、茶系統、及び他のアースカラーの色の建物に使われます。明るい照明や太陽光が当たる場所では黒のほうが目立ちません。最も一般的に使用され、殆どの場合最も目立たないのは黒です。

ステルスネットには対象害鳥に応じて 3 種類のメッシュサイズがあります。

2cm: すずめ、ツバメなど小型の鳥から大型の鳥すべて。

2.8cm: ムクドリ、ヒヨドリ以上、大型の鳥すべて。

5cm: 鳩より大型の鳥すべて。



ステルスネットのサイズ選択は場所により様々です。裁断寸法を考慮してロスの少ないサイズを選びます。

ステルスネットのサイズは各メッシュサイズとも下記の寸法になります。

7.5mx7.5m

7.5mx15m

15mx15m

メッシュサイズ 5cmにはこの他に 30mx30mもあります。

ステルスネットの開梱

バードマスターから納品されるステルスネットには角に印の結び目がつけられています。長方形の場合には長手側にもマークがしてあります。ネットを広げる際は角の印を目安に広げてください。ネットが完全に伸ばされる前のメッシュは菱形の状態です。

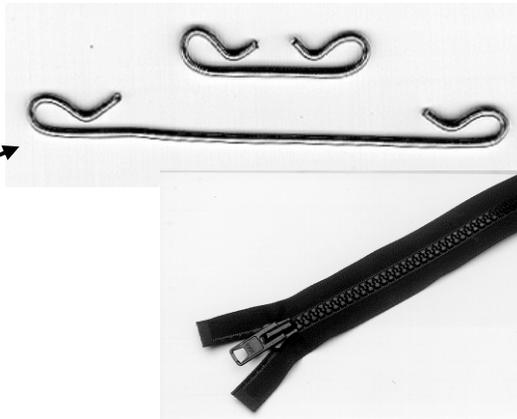


8) ネット内での作業

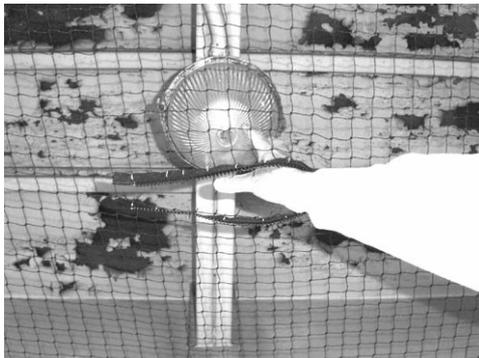
ネットが張られた後でも、ジッパーやアクセスクリップを取り付ければ中の作業が出来ます。ジッパーやクリップは開口部とするところに簡単につけられます。ジッパーは閉じた状態にしておき、ネットリングでジッパーの両端の布をネットに止め、終わったら、ジッパーを開いてネットの糸を切ります。アクセスクリップは、いくつか連続してネットにはめてからネットの糸を切ります。



アクセスクリップ



ジッパー



ネットを張り電灯等を塞いでいても、ジッパーを取り付ければ電球等のメンテナンスも行えます。

ネット取り付けのコツ: 一方通行、逆走厳禁

ネットをケーブルに取り付ける際は1箇所始めるコーナーを決めます。そこから真っ直ぐに、一直線に、一方向へ取り付けます。5~60cm程取り付けたところで、最初のコーナーへ戻り直角方向へ5~60cm取り付け、そのコーナーへしっかりと取り付けます。これらの2辺のうち一方、可能であれば長い方の辺を先ず取り付けてください。次にこのコーナーのもう1辺を取り付けてください。ここまですべて1つのコーナーを境に隣り合わせた2辺の取り付けが終わっていますが、次は残りの2辺はどちらを先にしても構いません。

ネットを止め終わったら、ケーブルをチェックします。ケーブルが弛んで、そのネットのメッシュサイズ以上の隙間があるようであればターンバックルを締めてください。(こうするとケーブルが締まり、隙間が閉じます。)

ネットに隙間を作らないようにするには中間金具を適切な間隔で取り付けることと、ネット自体をあまり強く引っ張り過ぎないように取り付けることが大事です。